

PlateSpin Migrate 2018.11 リリースノート

2018 年 12 月

PlateSpin Migrate 2018.11 には、新機能と機能の改善が含まれており、既知の問題もいくつか解決されています。

この製品のマニュアルは、PlateSpin Migrate 2018.11 マニュアルの Web サイト (<https://www.microfocus.com/documentation/platespin/platespin-migrate-2018-11/>) に HTML 形式と PDF 形式で用意されています。

この製品には、文書化されていないユーティリティが付属しています。これはテクニカルサポートチームが問題の診断または解決を行う際に使用します。

- ◆ 1 ページの「新機能」
- ◆ 5 ページの「非推奨となった機能」
- ◆ 6 ページの「既知の問題」
- ◆ 10 ページの「解決された問題」
- ◆ 15 ページの「PlateSpin Migrate のインストールまたは更新」
- ◆ 16 ページの「ライセンス情報」
- ◆ 16 ページの「以前のリリース」
- ◆ 16 ページの「Micro Focus への連絡方法」
- ◆ 16 ページの「保証と著作権」

新機能

PlateSpin Migrate 2018.11 には、複数の新機能および機能の改善が含まれています。

これらの改善の多くは、お客様から直接ご提案いただいたものです。皆様の貴重なお時間とご意見に感謝いたします。弊社の製品が皆様のご期待に添えるよう、引き続きお力添えを賜りたく存じます。

- ◆ 2 ページの「AWS マイグレーションの拡張」
- ◆ 2 ページの「Azure クラウドマイグレーションの拡張」
- ◆ 3 ページの「VMware vCloud Director マイグレーションの拡張」

- ◆ 3 ページの「ソースワークロードサポートの拡張」
- ◆ 4 ページの「ターゲットプラットフォームサポートの拡張」
- ◆ 4 ページの「セキュリティ拡張機能」
- ◆ 5 ページの「Web インタフェースの強化点」
- ◆ 5 ページの「Migrate Client の拡張」

AWS マイグレーションの拡張

◆ C5/M5 インスタンスタイプのサポート

PlateSpin Migrate は次のワークロードに対するターゲット VM として AWS C5、C5d、M5、および M5d インスタンスタイプのサポートを追加します。

- ◆ **Windows ワークロード** : Windows Server 2008 R2 以降
- ◆ **Linux ワークロード** : RHEL 7.4、CentOS 7.0、OEL 7.0、およびそれ以降のバージョンのこれらのディストリビューション
- ◆ **専用インスタンスと専用ホストのサポート**

Amazon EC2 専用ホストおよび Amazon EC2 専用インスタンスへのワークロードマイグレーションは、Amazon EC2 共有インスタンスへのワークロードマイグレーションの既存サポートに追加してサポートされるようになりました。

Azure クラウドマイグレーションの拡張

◆ 複数の Azure 環境のサポート

PlateSpin Migrate では、同一サーバ上のターゲットプラットフォームとして複数の Microsoft Azure 環境をサポートするようになりました。ターゲット Azure 環境および各ターゲット Azure プラットフォームの環境内の特定の場所を選択します：

- ◆ Azure 中国クラウド
 - ◆ Azure ドイツクラウド
 - ◆ Azure グローバルクラウド (デフォルト)
 - ◆ Azure 政府向けクラウド
 - ◆ **ソブリンクラウドの拡張サポート**
- ソブリンクラウドのサポートが拡張されました：
- ◆ Azure ドイツクラウド
 - ◆ Azure 政府向けクラウド
 - ◆ **拡張された Azure クラウドインスタンスサイズ設定**

クラウドインスタンスサイズをターゲットワークロード設定およびターゲットワークロードテスト設定で指定できるようになりました。これらの設定は依存していないため、異なるインスタンスサイズに設定できます。

VMware vCloud Director マイグレーションの拡張

◆ SLES 12 PRE for vCloud

PlateSpin Migrate では、UEFI ワークロードをターゲット VMware vCloud プラットフォームにマイグレートするために使用される SLES 12 PlateSpin Replication Environment を提供します。この PRE では、XFS v5 ファイルシステムを持つ UEFI ワークロードのマイグレーションも可能です。SLES 12 PRE 用の仮想アプライアンスの作成については、『ユーザガイド』の「[Understanding PlateSpin Replication Environment Used for Migration of Workloads to vCloud](#)」を参照してください。

ソースワークロードサポートの拡張

◆ Hyper-V への UEFI ワークロードのマイグレーションサポート

PlateSpin Migrate では、ターゲット Hyper-V Server 2016 および Windows Server 2016 Hyper-V プラットフォームへのワークロードの UEFI-to-UEFI および BIOS-to-UEFI 変換サポートが追加されています。

◆ vCloud への UEFI ワークロードのマイグレーションサポート

PlateSpin Migrate では、ターゲット VMware vCloud プラットフォームへのソース Windows および Linux UEFI ワークロードのマイグレーションサポートが追加されています。この機能には、XFS v5 ファイルシステムを持つソース Linux UEFI ワークロードが含まれています。

◆ サポートされる Linux のワークロード

PlateSpin Migrate では、次のソース Linux ワークロードのサポートが追加されています。プリコンパイル済みの `blkwatch` ドライバについては、『ユーザガイド』の「[ディストリビューションのリスト](#)」を参照してください。

プラットフォーム	バージョン	備考
Red Hat Enterprise Linux (RHEL)	7.5	<p>XFS バージョン 5 (v5) ファイルシステムは、RHEL 7.3 以降、およびこれらのバージョンに基づくディストリビューションでサポートされています。ただし、このサポートは BIOS ソースワークロードから vCloud ターゲットコンテナには適用されません。</p> <p>XFS v5 ファイルシステムを持つ UEFI ワークロードの vCloud へのマイグレーションには、SLES 12 SP3 に基づく vCloud PRE (PlateSpin Replication Environment) が必要です。XFS v5 ファイルシステムを持つ BIOS ワークロードの vCloud へのマイグレーションはサポートされていません。</p>

プラットフォーム	バージョン	備考
Oracle Linux	RHEL に基づいたディストリビューション。	Oracle Unbreakable Enterprise Kernel (UEK) および標準カーネルのプリコンパイル済み blkwatch ドライバを使用します。
CentOS	RHEL に基づいたディストリビューション。	RHEL でプリコンパイル済みの blkwatch ドライバを使用します。

サポートされるソースワークロードに関する詳細および注意事項については、『ユーザガイド』の「[サポートされる構成](#)」を参照してください。

- ◆ **iSCSI SAN 上にボリュームを持つワークロードのマイグレーションの BBT サポート**

PlateSpin Migrate では、iSCSI SAN 上に共有ストレージを持つ Windows クラスタを含む、iSCSI SAN 上にボリュームを持つワークロードのドライバベースブロックベースデータ転送のサポートが追加されています。

- ◆ **RDM ディスクを持つ VMware VM への Windows クラスタマイグレーションのサポート**

PlateSpin Migrate では、Microsoft Windows Server フェールオーバークラスタ (WSFC) の共有 RDM (ローデバスマッピング) ディスクを持つ VMware 仮想マシン (VM) への半自動 (X2P) マイグレーションをサポートします。『ユーザガイド』の「[Advanced Windows Cluster Migration to VMware VMs with RDM Disks](#)」を参照してください。

ターゲットプラットフォームサポートの拡張

- ◆ **ターゲット VMware 6.7 プラットフォームのサポート**

- ◆ VMware vCenter 6.7
- ◆ VMware ESXi 6.7
- ◆ vSAN 6.7

- ◆ **ターゲット VMware プラットフォーム上の NFS ボリュームのサポート**

- ◆ 「NFS v4.1」: VMware vCenter 6.x および ESXi 6.x プラットフォームのすべてのサポートされているバージョン用。
- ◆ 「NFS v3」: VMware vCenter および ESXi プラットフォームのすべてのサポートされているバージョン用

サポートされるターゲット仮想化プラットフォームに関する詳細および注意事項については、『ユーザガイド』の「[サポートされるターゲット仮想化プラットフォーム](#)」を参照してください。

セキュリティ拡張機能

- ◆ **資格情報用のセキュアなストレージ**

ワークロードおよびターゲットプラットフォーム用の資格情報パスワードは PlateSpin データベースで暗号化されて保存されます。各 PlateSpin Migrate サーバには、固有のランダムに生成された暗号化キーがあります。『ユーザガイド』の「[Security of Credentials](#)」を参照してください。

- ◆ **資格情報のセキュアなエクスポート**

Import/Export ユーティリティ (ImportExportAll.bat) により、オプションで暗号化パスワードを提供し、エクスポートされたデータでワークロードおよびターゲットプラットフォームの資格情報パスワードを暗号化して、インポート時にそれらを復号化することができます。『インストールおよびアップグレードガイド』の「[Exporting Workload Migration Data](#)」と「[Importing Workload Migration Data](#)」を参照してください。

Web インタフェースの強化点

PlateSpin Migrate では以下を使用して Web インタフェースを強化しています。

- ◆ **ライセンス購入者を表示する機能**

[ライセンス] ページには、ワークロードライセンス情報を表示することが可能な新しい [ライセンス購入者] タブが含まれています。

- ◆ **ターゲットワークロード設定をターゲットワークロードテスト設定にコピーする機能**

[マイグレーション設定] ページでは、[ターゲットのワークロード設定] セクションから [ターゲットのワークロードテスト設定] セクションにワークロード設定をコピー可能な [ターゲットのワークロード設定のコピー] オプションが提供されます。『ユーザガイド』の次の情報を参照してください。

- ◆ 「[アマゾンウェブサービスへのワークロードのマイグレーションの設定](#)」のターゲットのワークロード設定のコピー
- ◆ 「[Configuring Migration of a Workload to Microsoft Azure](#)」のターゲットのワークロード設定のコピー
- ◆ 「[VMware vCloud Director へのワークロードのマイグレーションの設定](#)」のターゲットのワークロード設定のコピー
- ◆ 「[Migrate Web インタフェースを使用した VMware への自動マイグレーション](#)」のターゲットのワークロード設定のコピー

Migrate Client の拡張

- ◆ **増分レプリケーション用のボリュームを選択する機能**

Migrate Client では、サーバ同期ジョブを構成する場合に増分レプリケーション用に同期するボリュームをオプションで選択できます。

非推奨となった機能

PlateSpin Migrate 2018.11 では、次のサーバレベルの PlateSpin 構成設定をサポートしなくなりました。

- ◆ AzureAuthenticationAddress
- ◆ AzureCloudAddress
- ◆ AzureStorageEndpointSuffix

代わりに、適切なターゲット Azure 環境を使用する各 Azure ターゲットプラットフォームを構成します。詳細については、「[複数の Azure 環境のサポート](#)」を参照してください。

既知の問題

Micro Focus は、弊社の製品が企業のソフトウェアニーズを満たす高品質のソリューションを提供できるように、常に努力しています。次の問題は、現在調査中です。問題についてさらにサポートが必要な場合は、[Micro Focus のサポートサービス \(http://www.microfocus.com/support-and-services\)](http://www.microfocus.com/support-and-services) にお問い合わせください。

以前のリリースでの既知の問題については、「[以前のリリース](#)」を参照してください。

- ◆ [6 ページの「アップグレードに関する既知の問題」](#)
- ◆ [8 ページの「Azure へのマイグレーションに関する既知の問題」](#)
- ◆ [8 ページの「AWS へのマイグレーションに関する既知の問題」](#)
- ◆ [9 ページの「VMware へのマイグレーションに関する既知の問題」](#)
- ◆ [10 ページの「一般的な問題」](#)

アップグレードに関する既知の問題

アップグレード前 : KB 記事 7921083 「How to Export and Import PlateSpin Database Data」の無効な URL

問題 : PlateSpin Migrate 12.3 から PlateSpin Migrate 2018.11 にアップグレードするときに、KB 記事 7921083 「How to Export and Import PlateSpin Database Data」へのデータドキュメントのエクスポートリンクによりその場所に移動するが、エラーメッセージ「Document is not available」を受信します。(バグ 1116641)

解決策 : PlateSpin Migrate のナレッジベースは Micro Focus Web サイトに移動し、一部の記事の番号が再割り当てされました。アップグレード前にデータをエクスポートする方法については、<https://support.microfocus.com/kb/doc.php?id=7023175> にある「How to Export and Import PlateSpin Database Data」(KB 記事 7013175) を参照してください。

アップグレード後 : vCloud マイグレーションの編集時に不正な警告メッセージ : 正常にマイグレーションを実行するには /boot ボリュームが必要

問題 : Migrate サーバをバージョン 12.3 または 12.3 パッチアップデート 1 からバージョン 2018.11 にアップグレードした後で、アップグレード前に vCloud へのマイグレーション用に設定されたソースワークロードの設定を編集することを選択する場合、PlateSpin Migrate Web インタフェースが正常にマイグレーションを実行するには /boot ボリュームが必要だという警告メッセージが不正に表示されます。(バグ 1117060、1117069)

解決策 : この警告メッセージは無視してください。Migrate サーバのアップグレード後に、vCloud ターゲットへのソースワークロードの設定を編集するときに /boot/efi パーティションを選択してはなりません。

アップグレード後 : BBT ドライバのアップグレードのためのタスク通知がない

問題 : PlateSpin Migrate 2018.11 では新しいブロックベース転送 (BBT) ドライバを用意しています。アップグレード後に、Migrate では以前の BBT ドライバがすでにインストールされているワークロードごとに BBT ドライバをアップグレードするために、PlateSpin Migrate Web インタフェースの [ワークロード] ページにある [タスク] 列に通知が表示される必要があります。しかし [ワークロード] ページにアップグレードタスク通知が表示されません。ただし、影響を受けるワークロードの [コマンドの詳細] ページに [コンポーネントのアップグレード] ボタンが表示されます。(バグ 1119196)

解決策 : ターゲットプラットフォームにマイグレートされるワークロード用に必要に応じてアップグレードタスク通知の表示を起動するには、PlateSpin Migrate Web インタフェースの [ターゲット] ページに移動し、ターゲットの横にある [リフレッシュ] をクリックします。影響を受けるワークロードに対して次のタスクメッセージを受け取ります。

New version of the block-based component is available for this workload.

BBT ドライバをアップグレードする準備ができたなら、タスクの [コンポーネントのアップグレード] をクリックします。任意のワークロードの [コマンドの詳細] ページを表示して、[コンポーネントのアップグレード] ボタンが表示されているかどうかを確認し、それをクリックしてワークロードの BBT ドライバのアップグレードを起動することもできます。

重要 : Migrate のアップグレード前に準備済み状態だったワークロードの BBT ドライバをアップグレードする前に、ワークロード上でフルレプリケーションを確実に実行してください。詳細については、「[アップグレード後 : 以前に準備済みのワークロードが BBT ドライバのアップグレード後にレプリケーションで失敗する](#)」を参照してください。

アップグレード後 : 以前に準備済みのワークロードが BBT ドライバのアップグレード後にレプリケーションで失敗する

問題 : PlateSpin Migrate 2018.11 にアップグレードした後で、以前の BBT ドライバがすでにインストールされているワークロードで BBT ドライバをアップグレードするように通知されます。ただし、BBT ドライバをアップグレードした後で、Migrate アップグレードの前に準備済み状態であったワークロードについて、最初のフルレプリケーションが実行されていない場合でも、ワークロードの状態が準備済みではなく、レプリケート済みと不正に報告されます。このワークロードをレプリケートしようとする以降のすべての試みが失敗します。この問題は Migrate アップグレード前にレプリケート済み状態であったワークロードには影響しません。(バグ 1119342)

解決策 : Migrate のアップグレード前に準備済み状態だったワークロードの BBT ドライバをアップグレードする前に、ワークロード上でフルレプリケーションを確実に実行してください。

以前に準備済みのワークロードに対して BBT ドライバをすでにアップグレードしていて、後続のレプリケーションの試みが失敗する場合、[ソースの維持] オプションが有効なワークロードを削除して、ワークロードを再設定して準備する必要があります。

Azure へのマイグレーションに関する既知の問題

Migrate が Azure インスタンス Standard_E20_v3 および Standard_E20s_v3 の NIC 最大数の値を間違えて表示する

問題: Azure インスタンス Standard_E20_v3 および Standard_E20s_v3 の場合、NIC の最大数の値として 1 が表示されますが、値は 8 である必要があります。(バグ 1117699)

解決策: なし。Azure Ev3-series および Esv3-series インスタンスサイズについては、Microsoft Azure ドキュメントの [メモリ最適化済み仮想マシンのサイズ](#) を参照してください。

Azure へのカットオーバー後にシャットダウンされるターゲット Azure に対してクラウド課金が発生し続ける

問題: カットオーバー後にターゲットワークロードをシャットダウンするように設定された Microsoft Azure にワークロードを移行する場合、PlateSpin Migrate は正常にカットオーバーを行った後でゲストオペレーティングシステムをシャットダウンします。移行されたワークロードは Azure で停止 (割り当て済み) ステータスとなります。ワークロードゲストオペレーティングシステムの電源が切断されても、Azure VM は割り当て済み VM リソースに対する Azure からの課金が発生し続けます。(バグ 977144)

解決策: VM リソースに対する課金を停止するには、Azure ポータルを使用して VM をシャットダウンできます。その後 VM は停止済み (割り当て解除済み) 状態となり、Azure からの課金は発生しなくなります。

1 適切な Azure ポータルにアクセスして、Azure アカウントにログインします。

- ◆ Azure ポータル (<http://portal.azure.com/>)
- ◆ Azure China ポータル (<http://portal.azure.cn/>)
- ◆ Azure ドイツポータル (<https://portal.microsoftazure.de/>)
- ◆ Azure 政府向けポータル (<https://portal.azure.us/>)

2 仮想マシンに移動し、[停止] を選択します。

Azure VM のシャットダウンの詳細については、[Properly Shutdown Azure VM to Save Money \(コストを節約するために Azure VM を適切にシャットダウンする\)](https://buildazure.com/2017/03/16/properly-shutdown-azure-vm-to-save-money/) (<https://buildazure.com/2017/03/16/properly-shutdown-azure-vm-to-save-money/>) を参照してください。

AWS へのマイグレーションに関する既知の問題

C5 または M5 インスタンスタイプのソースワークロードの Citrix XenServer への変換後に、AWS ドライバが削除されない

問題: C5 または M5 インスタンスタイプのソースワークロードを AWS から Citrix XenServer にマイグレートする場合は、変換が正しく実行されます。ただし、変換後に AWS ドライバがターゲットワークロードから削除されません。(バグ 1110919)

解決策: なし。機能に影響はありません。

CentOS ワークロードの AWS へのマイグレーションが停止する

問題: CentOS 7 または 7.1 ワークロードの AWS ターゲットへのマイグレーションが回復可能なエラーで停止します。これは NVMe ドライバでワークロードの再起動によりカーネルパニックが発生するためです。(バグ 1112284、1113304)

解決策: CentOS ワークロードの AWS へのマイグレーションが正常に完了するには、ターゲットワークロードインスタンスを手動で停止し、それを再び開始します。

AWS マイグレーションの設定: プレイメントグループ検証エラーメッセージにサポートされていないすべてのインスタンスタイプが一覧表示されない

問題: AWS ターゲットへのマイグレーションを設定する際に、AWS がプレイメントグループでの起動をサポートしていないインスタンスタイプを選択する場合に、プレイメントグループを選択すると、PlateSpin Migrate でエラーメッセージが表示されます。ただし、このエラーメッセージにはサポートされていないすべてのインスタンスタイプが一覧表示されない場合があります。(バグ 1116718)

解決策: なし。Migrate でのプレイメントグループの設定は Amazon EC2 によってサポートされているクラウドインスタンスタイプに限定されます。プレイメントグループと AWS ルールおよびそれらを使用する制限に関する最新情報については、AWS EC2 ドキュメントを参照してください。

- 『AWS EC2: Windows インスタンス用ユーザガイド(<https://docs.aws.amazon.com/AWSEC2/latest/WindowsGuide/placement-groups.html>)』の「プレイメントグループ」。
- 『AWS EC2: Linux インスタンス用ユーザガイド(<https://docs.aws.amazon.com/AWSEC2/latest/UserGuide/placement-groups.html#concepts-placement-groups>)』の「プレイメントグループ」。

[ターゲットのワークロード設定のコピー] ボタンを使用する際に重複する検証メッセージが表示される

問題: AWS へのマイグレーション用にワークロードを設定する際に、[ターゲットのワークロード設定のコピー] をクリックして、[ターゲットのワークロード設定] パネルに検証メッセージが表示されている場合に、同じ検証メッセージが [ターゲットのワークロードテスト設定] パネルにトリガされますが、これらの表示は重複しています。(バグ 1118536)

解決策: なし。機能への影響はありません。

VMware へのマイグレーションに関する既知の問題

ワークロードを VMware にマイグレートするために X2P ワークフローを使用する際に、VMware Tools がターゲットワークロードにインストールされない

問題: ワークロードを VMware にマイグレートするために X2P ワークフローを使用する場合、変換を実行する前に、ターゲットワークロード用に VMware Tools を設定する必要があります。これにより、ターゲット VM が PlateSpin Server に接続したときに、環境設定サービスでツールをターゲット VM にインストールできます。『ユーザガイド』の「[ターゲットワークロード用の VMware Tools の設定](#)」を参照してください。

ただし、ソースおよびターゲットワークロード上のファームウェアが同じでない場合は、VMware ツールが自動的にコピーされないことがあります。(バグ 1117874)

解決策: 変換後に、ターゲットワークロード上の VMware ツールの古いバージョンを手動でアンインストールして、新しいバージョンをインストールしてください。

一般的な問題

ブロックベース転送が Windows ブートエラーで停止する : Windows が BBT ドライバファイル psmon.sys のデジタル署名を確認できない

問題: Migrate ブロックベース転送 (BBT) ドライバをソース Windows ワークロード上にインストールした後で、ブロックベース操作が停止します。BBT ドライバファイル psmon.sys のデジタル証明書を確認できないため、ソースマシンは起動に失敗し、次のブートエラーが表示されます。(バグ 1117642)

```
File: \Windows\system32\DRIVERS\psmon.sys status :0xc0000428 Info: Windows cannot verify the digital signature for this file.
```

解決策: Windows で PlateSpin Migrate ブロックベースの転送ドライバ用の Microsoft SHA256 証明書を確認するには、最新の Windows Update が必要です。ソース Windows ワークロード上にブロックベースの転送ドライバをインストールする前に、ワークロード上に最新の Windows Update を適用していることを確認してください。

解決された問題

このリリースで解決された問題のリストは次のとおりです。

- 11 ページの「ホスト名でソースワークロードを検出する際に、検出された制御下のターゲットがソースと同じホスト名を持つ場合に失敗する」
- 11 ページの「非デフォルトのディスクレイアウトでインストールされた RHEL 5.VMware ホスト上の RHEL 5.x ソースワークロードの AWS ターゲットへのマイグレーションが失敗する」
- 11 ページの「サーバの同期操作の完了後にもターゲットの VM 名に Under PlateSpin Control(PlateSpin 制御下) という文字列が含まれる」
- 12 ページの「Windows Server 2016 クラスタでソースパッシブノードがカットオーバー時にシャットダウンされない」
- 12 ページの「ワークロードが正常にカットオーバーされた後に、Azure ターゲット VM がセーフモードで起動される」
- 12 ページの「Windows ワークロードを UEFI ベースのターゲットとして Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V または Microsoft Hyper-V Server 2016 にマイグレートできない」
- 12 ページの「検出されたダイナミックディスクワークロードについて、ディスク番号とディスクインデックス番号が連続していない」
- 13 ページの「ワークロードが VMware 5.5 ターゲットに正常にマイグレートされた後でも vSphere Web クライアントでアラームメッセージが表示される」
- 13 ページの「ファイルシステムボリューム数が 15 を超えるディスクでワークロードのマイグレーションが失敗する」

- 13 ページの「Azure ポータルのターゲット VM の[仮想マシンの設定] ページに VM のサイズが表示されない」
- 13 ページの「Windows ワークロードを Windows Server 2016 Hyper-V のターゲット VM にマイグレートする際に、Hyper-V 統合サービスのインストールを促す警告メッセージが表示される」
- 14 ページの「Azure でレプリケーション環境を準備する際のエラー」
- 14 ページの「RHEL 7.3 UEFI から BIOS へのマイグレーションにおける増分レプリケーションが PrepOSToBoot 時に失敗する、grub.cfg の場所を特定できない」
- 14 ページの「VMware vCloud Director で CDRROM ロックメッセージでカットオーバーがハングする、ユーザの介入が必要」
- 14 ページの「初回の完全レプリケーションを中止すると、Linux ソースワークロードの root-PS-snapshot がクリーンアップされない」
- 15 ページの「[CLI] PlateSpin Migrate Client インタフェースを使用したコマンドの実行が失敗する」

ホスト名でソースワークロードを検出する際に、検出された制御下のターゲットがソースと同じホスト名を持つ場合に失敗する

問題: ホスト名でソースワークロードを検出する際には、すでに検出された制御下のターゲットが一致するホスト名を持つ場合に検出が失敗します。(バグ 1061695)

修正: 『ユーザガイド』の「ホスト名でソースワークロードを検出する際に、検出された制御下のターゲットがソースと同じホスト名を持つ場合に失敗する」を参照してください。

非デフォルトのディスクレイアウトでインストールされた RHEL 5.VMware ホスト上の RHEL 5.x ソースワークロードの AWS ターゲットへのマイグレーションが失敗する

問題: VMware ホスト上にある RHEL 5.x ソースワークロードを AWS ターゲットにマイグレートすることを選択する場合、VMware ツールがソースワークロード上にインストールされていないときにはマイグレーションが失敗します。(バグ 1069538、1069540)

修正: この問題は Web インタフェースでの AWS マイグレーションのサポートで修正されました。ワークロードをマイグレートする前に、ソースワークロード上に VMware ツールをインストールする必要はなくなりました。

サーバの同期操作の完了後にもターゲットの VM 名に Under PlateSpin Control(PlateSpin 制御下) という文字列が含まれる

問題: Migrate Client を使用して、ソースの変更を ESX サーバ上のターゲットワークロードと同期するために Server Sync 操作を実行した場合、Server Sync 操作が正常に完了した後も、ターゲットの VM 名に (under PlateSpin control) という文字列が含まれます。(バグ 1102407)

修正: サーバ同期操作が完了した後で、ターゲット VM 名が正しく表示されます。

Windows Server 2016 クラスタでソースパッシブノードがカットオーバー時にシャットダウンされない

問題: Windows Server 2016 クラスタでシャットダウンがマイグレーション後の終了状態として設定されている場合、PlateSpin Migrate Web インタフェースによってシャットダウンされるのはクラスタのアクティブノードだけで、パッシブノードはシャットダウンされません。ソースノードは、すべて Migrate Client によって正常にシャットダウンされます。(バグ 1087669)

修正: 『ユーザガイド』の「[Source Passive Node Does Not Shut Down at Cutover for Windows Server 2016 Cluster](#)」を参照してください。

ワークロードが正常にカットオーバーされた後に、Azure ターゲット VM がセーフモードで起動される

問題: Windows Small Business Server 2011 ワークロードを Azure にマイグレートすることを選択した場合、カットオーバーは完了しますが、Azure 内のターゲット VM がセーフモードで起動されます。(バグ 978131)

修正: 『ユーザガイド』の「[ワークロードが正常にカットオーバーされた後に、Azure ターゲット VM がセーフモードで起動される](#)」を参照してください。

Windows ワークロードを UEFI ベースのターゲットとして Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V または Microsoft Hyper-V Server 2016 にマイグレートできない

問題: UEFI または BIOS の Windows ワークロードを Windows Server 2016 Hyper-V または Microsoft Hyper-V Server 2016 ターゲットにマイグレートする場合、[Hyper-V 仮想マシン設定] ダイアログの仮想マシンのジェネレーションタイプはデフォルトで「[ジェネレーション 1](#)」に設定されますが、このジェネレーションタイプを編集することはできません。(バグ 1087212)

修正: Migrate Client では、Windows Server Hyper-V 2016 または Microsoft Hyper-V Server 2016 へのマイグレーションに UEFI-to-UEFI または BIOS-to-UEFI 変換をサポートするようになりました。

検出されたダイナミックディスクワークロードについて、ディスク番号とディスクインデックス番号が連続していない

問題: シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、および RAID5 というタイプのダイナミックディスクを使用した Windows ソースワークロードの場合、ターゲットワークロードの設定では、ディスク名とディスクインデックスに不連続の番号が割り当てられます。このような不連続の番号付けは、ソースワークロード上のダイナミックディスクのタイプに起因するものです。ターゲットワークロードには、必要なディスクはすべて存在しています。この問題は Web インタフェースのターゲットワークロードで発生します。(バグ 973266)

修正: 『ユーザガイド』の「[検出されたダイナミックディスクワークロードについて、ディスク番号とディスクインデックス番号が連続していない](#)」を参照してください。

ワークロードが VMware 5.5 ターゲットに正常にマイグレートされた後でも vSphere Web クライアントでアラームメッセージが表示される

問題: ワークロードを VMware 5.5 ターゲットにマイグレートする場合、マイグレーションは正常に完了します。ただし、vSphere Web Client に次のメッセージが表示されます: (バグ 1090278)

vSphere Web Client Configuration Issue: Virtual Machine Disks Consolidation is needed.

vSphere Web Client Triggered Alarm: Virtual machine Consolidation Needed status

修正: 『ユーザガイド』の「[vSphere Alarm: Virtual Machine Consolidation Needed](#)」を参照してください。

ファイルシステムボリューム数が 15 を超えるディスクでワークロードのマイグレーションが失敗する

問題: ファイルシステムボリューム数が 15 を超えるディスクでソースワークロードをマイグレートすると、[ボリュームの作成とパーティション化] ステップでマイグレーションが失敗します。(バグ 1020176)

修正: 『ユーザガイド』の「[Planning For Migrating Workloads to Amazon Web Services](#)」を参照してください。

Azure ポータルのターゲット VM の [仮想マシンの設定] ページに VM のサイズが表示されない

問題: 該当 VM が DSX_v2 シリーズに属している場合は、ワークロードが Azure に正常にカットオーバーされた後、Azure ポータルの [仮想マシンの設定] ページに Azure VM のサイズが表示されません。この設定ページには VM サイズは表示されませんが、ベースとなる VM 設定には VM サイズが含まれています。(バグ 977497)

修正: DSX_v2 シリーズの VM のサイズ情報が Azure ポータルに適切に表示されます。

Windows ワークロードを Windows Server 2016 Hyper-V のターゲット VM にマイグレートする際に、Hyper-V 統合サービスのインストールを促す警告メッセージが表示される

問題: Windows Server 2008 SP2 または Windows Server 2008 R2 のソースワークロードを Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V にマイグレートする際に、Migrate で

C:\Windows\system32\vmguest.iso ファイルを使用して Hyper-V 統合サービスドライバを Hyper-V のターゲット VM にインストールできない場合、次のジョブ警告メッセージが表示されます。

```
"InstallHyperVIntegrationServices" (Failed: Non-Critical Error) (
「InstallHyperVIntegrationServices」(失敗: 重要でないエラー))
```

マイグレーションは正常に完了しますが、ターゲット VM に Hyper-V 統合サービスが自動インストールされることはありません。(バグ 1084987)

修正 : Hyper-V へのマイグレーションを開始する前に、マイグレーション環境を適切に準備していることを確認します。『ユーザガイド』の「[Planning for Migration to Microsoft Hyper-V](#)」を参照してください。

Azure でレプリケーション環境を準備する際のエラー

問題 : Azure でレプリケーション環境を準備する際に、Migrate サーバの日時が Azure 環境で時刻と同期されなくなる場合に 403 Forbidden error が表示されます。通常、時間ドリフトが 15 分を超えるとエラーが発生します。(バグ 1077308)

修正 : Migrate サーバの日時設定がターゲット Azure 環境の時刻同期要件内であることを確認してから、レプリケーションを再試行します。

RHEL 7.3 UEFI から BIOS へのマイグレーションにおける増分レプリケーションが PrepOSToBoot 時に失敗する、grub.cfg の場所を特定できない

問題 : RHEL 7.3 および RHEL 7.3 に基づくディストリビューションの場合、UEFI から BIOS へのマイグレーションにおける増分レプリケーションが、ターゲットマシンでオペレーティングシステムのブートを準備しているときに失敗します。これは grub.cfg 設定ファイルの場所を特定できないためです。このエラーは Azure および vCloud で発生します。(バグ 1066071)

修正 : Migrate では grub.cfg 設定ファイルの場所を適切に判断できます。

VMware vCloud Director で CDROM ロックメッセージでカットオーバーがハングする、ユーザの介入が必要

問題 : AWS から VMware vCloud へのソース Linux ワークロード (RHEL、CentOS、または Oracle Linux RHCK Linux ディストリビューションを実行中) のテストカットオーバーまたはカットオーバーが Web インタフェースの次のメッセージでハングします。

```
Configuration services is taking a long time to start
```

VMware vCloud Director (vApps*vAppName*\virtual Machine*vmName*) で、ユーザ介入を必要とするダイアログボックスに、ゲスト OS がターゲット VM 上の CDROM をロックしていると表示され、CD-ROM のロックを無効にするように求めています。Web インタフェースでは、ターゲット環境の VMware vCloud Director で vCDROM のロックアウトを手動で無効にするまでカットオーバーはハングしたままになります。(バグ 1087949)

修正 : この問題は解決され、ロックを無効にするかどうかを求めるプロンプトは表示されなくなりました。

初回の完全レプリケーションを中止すると、Linux ソースワークロードの root-PS-snapshot がクリーンアップされない

問題 : VMware 上のソース Linux VM を Azure 内のターゲット Linux VM にカットオーバーする際、[Abort (中止)] アクションが正常に実行された後に次のカットオーバーを実行しようとする、次のエラーが発生してカットオーバーが失敗します。

Under-control conversion of a Linux source with LVM snapshots is not supported: See `/dev/<source-hostname>/root-PS-snapshot` (LVM スナップショットを使用した Linux ソースの制御下変換はサポートされていません: `/dev/<source-hostname>/root-PS-snapshot` を参照してください)

このエラーは、[Abort (中止)] アクションに対応するクリーンアップ処理中に `root-PS-snapshot` シンボリックリンクが削除されていないために発生します。(バグ 1016619)

修正: リンクを手動でクリーンアップします。『ユーザガイド』の「[Cutover Fails If root-PS-snapshot on the Source Linux Workload Is Not Cleaned Up Properly](#)」を参照してください。

[CLI] PlateSpin Migrate Client インタフェースを使用したコマンドの実行が失敗する

問題: PlateSpin Migrate Client のコマンドラインインタフェースを使用して実行されたコマンドがエラー `missing parameter value/address` で失敗します。

このエラーは Migrate サーバ詳細を含む設定ファイルを読み込むことができないため発生します。(バグ 1086232)

修正: 事前に設定された Migrate サーバの値を含む設定ファイルの名前が `PlateSpin.Migrate.Console.exe.config` と名前変更されました。CLI はこの設定ファイルを読み込み、コマンドを正常に実行するために事前設定された Migrate サーバの値を使用できるようになりました。

PlateSpin Migrate のインストールまたは更新

PlateSpin Migrate 2018.11 では、「PlateSpin Migrate の前提条件のインストール」用の PowerShell スクリプトが提供されています。これを使用して、前提条件ソフトウェアを確認およびインストールしてから、適切な設定 (ASP.NET、IIS、および .NET Framework) を適用することができます。『インストールおよびアップグレードガイド』の「[前提条件ソフトウェアのインストール](#)」を参照してください。

2018.11 のインストールについては、「[PlateSpin Migrate Installation and Upgrade Guide](#)」の *PlateSpin Migrate* のインストールを参照してください。

PlateSpin Server に PlateSpin Migrate 2018.11 を適用するには、中間パッチやホットフィックスが適用されているかどうかにかかわらず、サポートされている Windows プラットフォームに PlateSpin Migrate 12.3 がインストールされている必要があります。『*Installation and Upgrade Guide*』の「[Upgrading Migrate](#)」を参照してください。

注: PlateSpin Migrate 12.3 サーバの既存のインストールから、サポートされた新しいホストプラットフォームにアップグレードするには、『インストールおよびアップグレードガイド』の「[Upgrading Migrate to a New Host Platform](#)」を参照してください。

ライセンス情報

新しいライセンスを有効にする方法については、『ユーザガイド』の「[PlateSpin Migrate 製品ライセンス](#)」を参照してください。

以前のリリース

以前のリリースに不随するドキュメントについては、[PlateSpin ドキュメントの Web サイト](#)にアクセスし、探しているリリースまでスクロールしてください。

Micro Focus への連絡方法

本書またはこの製品に付属するその他のドキュメントについて、お客様のご意見やご提案をお待ちしています。英語版ドキュメントの HTML ページの下部にある、[\[comment on this topic\]](#) リンクを使用できます。

特定の製品の問題については <https://support.microfocus.com/contact/> にある、Micro Focus サポートに連絡してください。

追加のテクニカル情報またはアドバイスについては、次の複数のソースを参照してください。

- ◆ 製品情報とリソース :
- ◆ Micro Focus Customer Center: <https://www.microfocus.com/customercenter/>
- ◆ 製品ナレッジベースおよびビデオ : <https://www.microfocus.com/support-and-services/>
- ◆ Micro Focus Communities: <https://www.microfocus.com/communities/>
- ◆ PlateSpin Idea Exchange: https://community.softwaregrp.com/t5/PlateSpin-Idea-Exchange/idb-p/PlateSpin_Ideas/

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.microfocus.com/about/legal/> を参照してください。

© Copyright 2007 – 2018 Micro Focus or one of its affiliates.